

市野川流域関連嵐山公共下水道事業計画（素案）における
パブリックコメントの実施結果について

■結果

実施期間	令和 6 年 1 1 月 1 日(金)から令和 6 年 1 1 月 2 5 日(月)まで	
意見提出	1 件（1 名）	
意見取扱い	素案を修正したもの	0 件
	既に素案で対応しているもの	0 件
	今後の事業実施において参考とするもの	0 件
	意見として伺ったもの	0 件
	具体的な要望・質問等のもの	1 件

■意見

No.	項目（頁）	提出された意見 （原文のまま）	意見に対する考え方・修正内容	意見取扱い
1	3 章.計画 下水量及び その算出の 根拠 3-6 降雨量 及びその推 定根拠 （P.3-28）	今回の事業計画は、ここ最近の人口減少に伴う対応計画とみてとれました。他方、ここ最近では 1 時間あたり 100mm を超える大豪雨もたびたび発生しており、これまでの平均データに基づく雨水処理対応では、時に家屋災害のリスクを増大させ、人命をも危くする事態となっています。実際、この 8 月には地産団地全域でハザードマップに記されている浸水洪水が発生しました。むさし台 3 丁目と地産団地との境目あたりを南西から北東へほぼ直線に設けられている水路の断面が小さく水位が上がり、団地内側溝の雨水が流れ込まず（内水氾濫）、さらに水路はクランクを介して市野川と粕川の合流する付近に流れ込むとする個所でも内水氾濫のような事態となったためです。異常気象温暖化で大豪雨の発生頻度増です。人口減生活排水減への対応だけでなく、大豪雨雨水処理対応もお願いします。居住誘導区域の設定を進める立地適正化計画にも大いに貢献するものと考えます。（以上）	本計画は、ご認識のとおり生活排水（下水道）に関する計画です。具体的なご指摘については、関係各課に共有するとともに、当該事業実施時に参考とさせていただきます。	具体的な要望・質問等のもの